

NTT EDXのご紹介

~  EDX UniText サービスで学びの質向上へ ~

2022.2.17

株式会社NTT EDX

代表取締役社長 金山直博

社会課題と解決の方向性

高等教育機関の課題

- 学修者本位の教育への転換
- 多様性・柔軟性の確保
- 学びの質保証の再構築

解決の方針

After/Withコロナ時代に求められる教育

- アナログからデジタル活用への変革



ICTを活用した教育の高度化

データに基づく教育

自分に合った
知りたいことを学べる！



学生の声

デジタルコンテンツの活用

教科書 + オリジナル教材で
学びが深まる！



学生の声

デジタルとフィジカルの融合

いつでもどこでも
学ぶことができる！



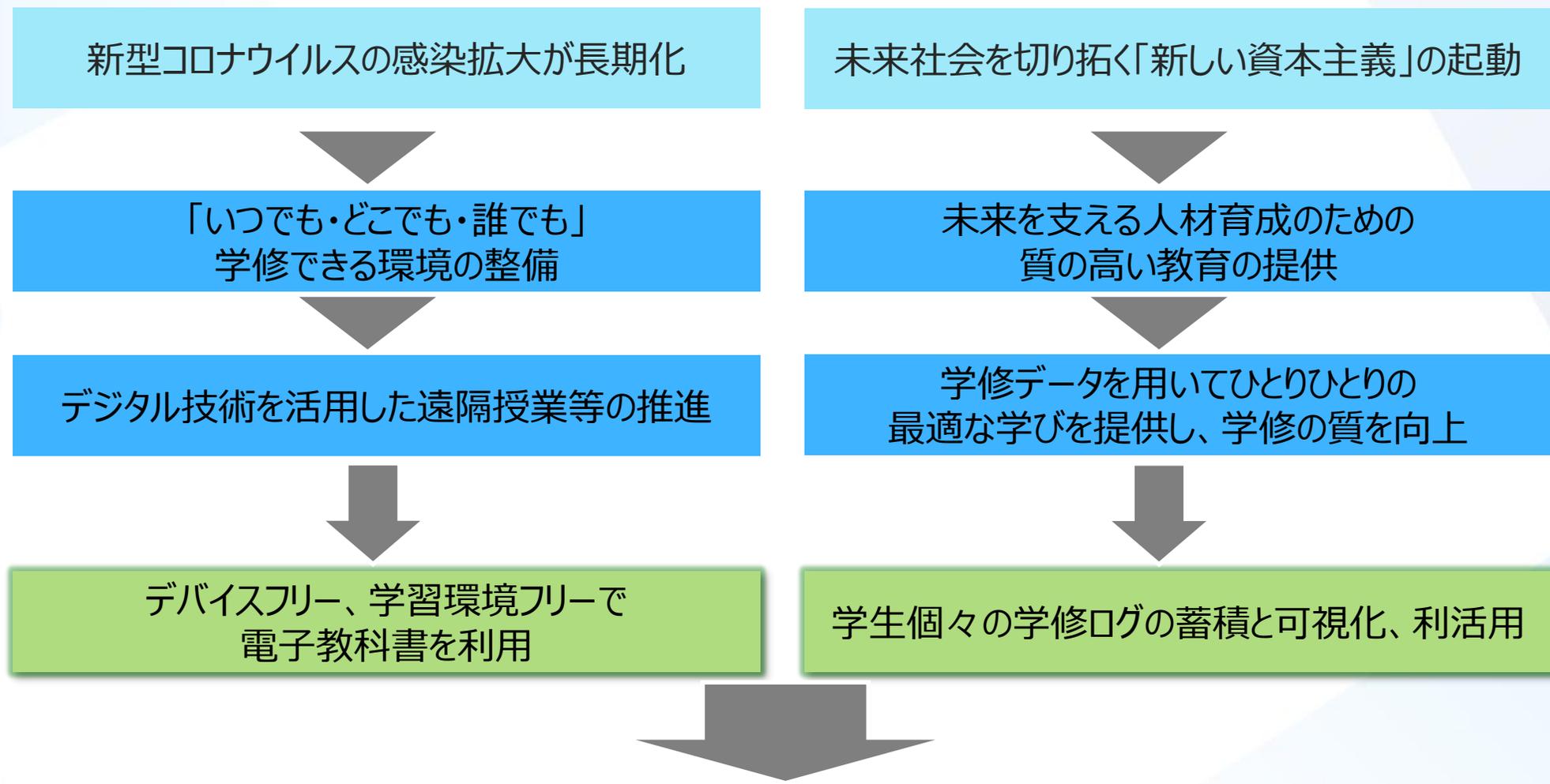
学生の声

デジタル技術の積極的な活用により、高等教育機関の課題解決に取り組む

デジタル技術の活用による高等教育機関の課題解決

社会

高等教育機関



**「電子教科書・教材配信サービス」で一人一人の学修の質向上を図り
教育のDX化と社会課題の解決を推進していく**

新会社設立による解決

- ✓ 多くの高等教育機関様に電子教科書・教材を円滑に導入できるよう電子教科書・教材配信などのプラットフォームサービスを提供する新会社（NTT EDX）を設立
- ✓ 大学DXと出版DXを両輪で推進し、デジタルを活用した大学教育の高度化に貢献



会社概要

ICTで学びを新たなステージへ



会社名

株式会社NTT EDX (エヌ・ティ・ティ エディックス)

役員

代表取締役社長 金山 直博 (NTT西)
取締役 盛田 宏久 (DNP)
取締役 五十嵐 麻衣 (NTT東)

設立時期

2021年10月8日

資本金

1.4億円

株主

NTT西日本 (35%)、大日本印刷 (34%)、NTT東日本 (31%)

所在地

(本社) 東京都千代田区 (登記) 大阪府大阪市北区

Education
×
DX (Digital Transformation)

事業概要

- ✓ 高等教育機関／出版社向けに、電子教科書・教材配信を中心としたサービスを展開
- ✓ 学修の質向上を図るべく、教科書（紙・電子）の採用率・購入率を高め、学修者本位の教育の実現をめざす



電子教科書・教材配信サービス



電子教科書取次・流通支援サービス



教科書選定DBサービス

- ▶ 教科書の書誌情報や内容見本DB、教科書の閲覧～選書をサポート



学修データ利活用サービス

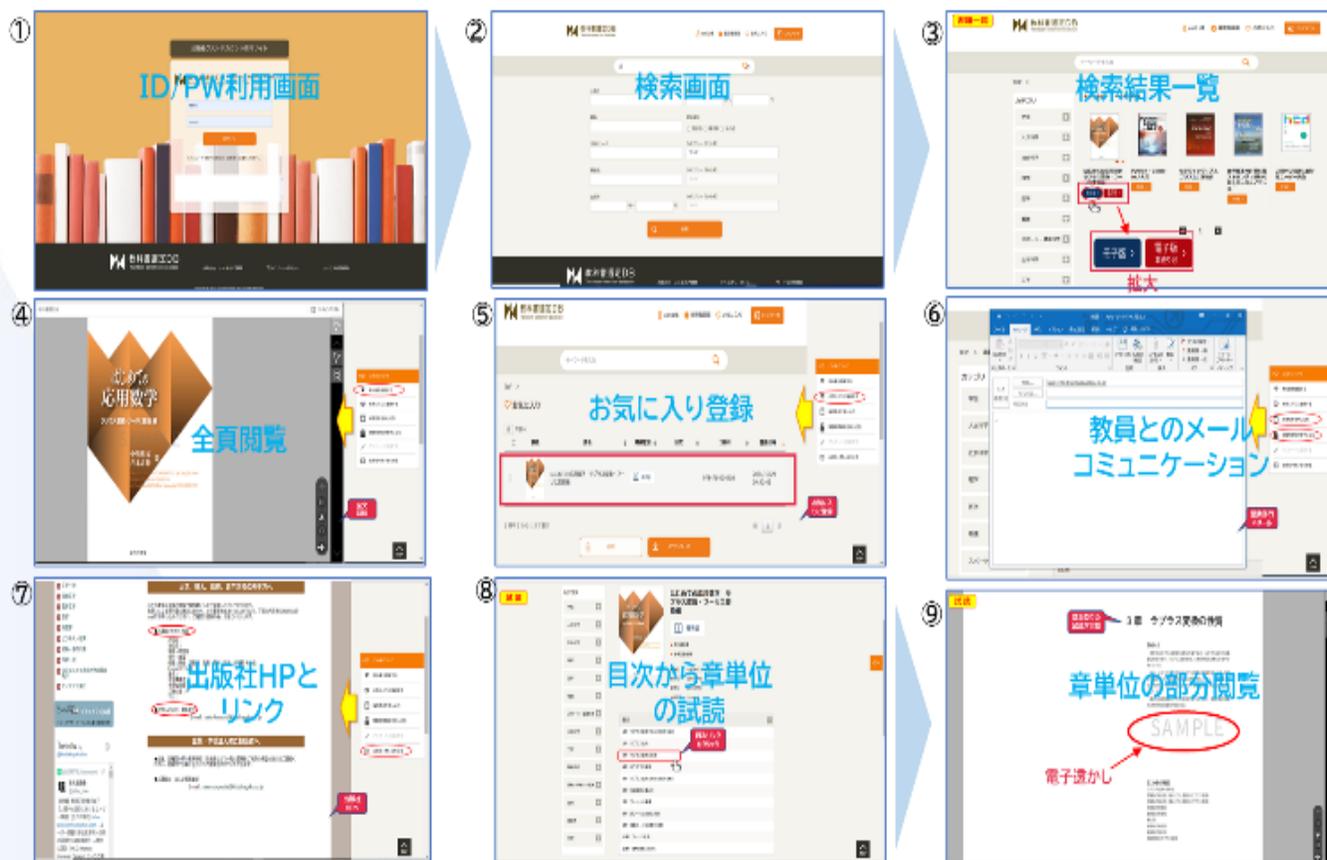
- ▶ 電子教科書の利用ログから学生の学修状況を可視化

具体的な事業内容①

教科書選定DBサービス

教科書(紙)の購入率UP

- ✓ Web上で教科書の書誌情報・書影の閲覧や試読、献本申込等が可能となるの唯一無二のDBサービス
- ✓ 教務システムやシラバス連携により、教科書の選定が簡単、かつ、確実に！
- ✓ 大学教員と出版社（採用品）のマッチングサービス



2022.4月～NTT EDXにて本格サービス化
(現在、DNPにて先行サービス中)

参加予定出版社：約150社、6万タイトル
(3年後には、300社、12万タイトルへ)

唯一無二の教科書DBとして、

- ・出版社様
- ・大学・教員・学生様
- ・販売書店様

への教科書販売・利用における効果的なサービスとして提供

具体的な事業内容②

電子教科書・教材配信サービス

電子教科書の購入率UP

- ✓ 電子教科書配信用プラットフォーム（配信サーバ、ビューワー）：EDX UniText
- ✓ 全国規模の大容量NWインフラ（SINET）を活用したサービス、電子教科書コンテンツとセットで提供！
- ✓ あらゆる教科書扱い書店様に向けて、電子教科書配信インフラ提供、及び、運用サポート

【特徴】

① 様々な学修支援機能

- ・サムネイル、しおり(ブックマーク)、マーカー、書き込み(メモ)、暗記ペンなど

② 学修記録の端末間同期

- ・PC、タブレット、スマホ等一人3台まで利用でき、学修記録の同期が可能

③ 教員⇄学生⇄学生の双方向機能(ページ書き込み等の共有)

- ・LMS, シラバスとの連携(電子教科書とのページリンク共有が可能)

④ 講義資料・教材、学修用映像・動画なども搭載可能

- ・市販教科書と講義資料や教材とのリンクにより、学習効率・理解力の向上

⑤ 学修ログ取得機能

- ・マーカー、書き込み、検索等の学修行動把握による授業の質的向上

⑥ 著作権保護・セキュリティー機能

- ・堅牢なDRMによる電子書籍の不正コピーや不法流通を防止

⑦ 学術情報ネットワーク(SINET)とクラウドサービスを直結！

- ・閉域接続による高速かつセキュアなネットワーク環境の構築



具体的な事業内容③



電子教科書取次・流通支援サービス

電子教科書の購入率UP

- ✓ 採用率・購入率UPにつれて、増えてくる電子教科書取り扱い書店へ向け、電子教科書をワンストップで取次
- ✓ すべての教育機関と教科書取り扱い書店への公平な流通を支援！
- ✓ 電子教科書の販売拡大に向け、全国の教科書扱い書店様の販売を支援

提供機能一覧



(参考) 活用イメージ① デジタル化による教育の質向上

- 教員：可視化された学生の学修状況に基づき、学生個々に的確なアドバイスができる
- 学生：利用端末や場所を問わず学習ができ、電子教科書を通じて教員からの質問回答をもらえる
- 経営層：データ利活用による、学修の質向上と学生サービスの付加価値提供

1:授業前



【教員】
事前課題や予習ポイントを教科書に記載したり、教材をアップする



マーカーや図形、コメントを使い
ポイントを教員が記入



授業内容を要約した資料や
動画を作成し、アップロード



【学生】
時間と場所を問わず
要点を抑えながら事前学習



要約でその日の授業の
概要を把握



学生はポイントを
自分の教科書に反映

2:授業

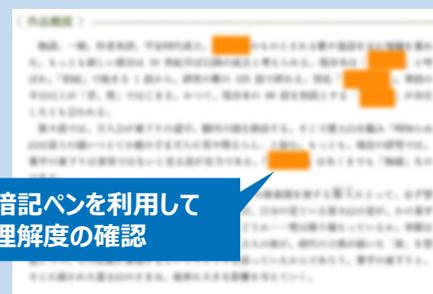
ディスカッションを中心
とした授業



3:授業後



【学生】
授業の内容を元にポイントを自
分の教科書に追加



暗記ペンを利用して
理解度の確認

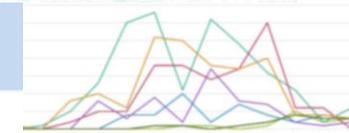
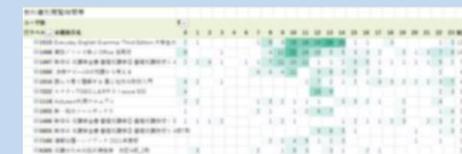
【学生】気になったタイミングで調べる



4:分析



【教員】
学修状況を可視化し
次回の授業に活用



学生の閲覧状況から
次回重点的に指導するポイントを検討

(参考) 活用イメージ② 履修登録や教科書購入のデジタル化

- 教務課：担当者が手作業で行っている教科書の選定・発注業務、シラバス登録作業をオンラインで業務効率化
- 学生：教科書購入前の試読が可能となり、適した履修科目を選択しやすくなる
- 経営層：学内業務のDX化が進み、コスト低減や業務品質が改善される

1:教科書・教材準備

学修効果の高い
教科書・教材を選書



手作業の教科書発注業務を軽減
誤発注や入荷遅延も改善！

オンライン上の教科書
データベースから選書！

2:シラバス登録

シラバスへ自動登録



膨大な登録
作業も削減！

教科書情報と授業情報が
連携！

3:履修検討・登録

学びたい内容に
合致



シラバスからシームレスに
教科書を試読できる！

履修講義の
検討・登録が可能！

4:教科書購入

電子教科書の
購入・即時利用



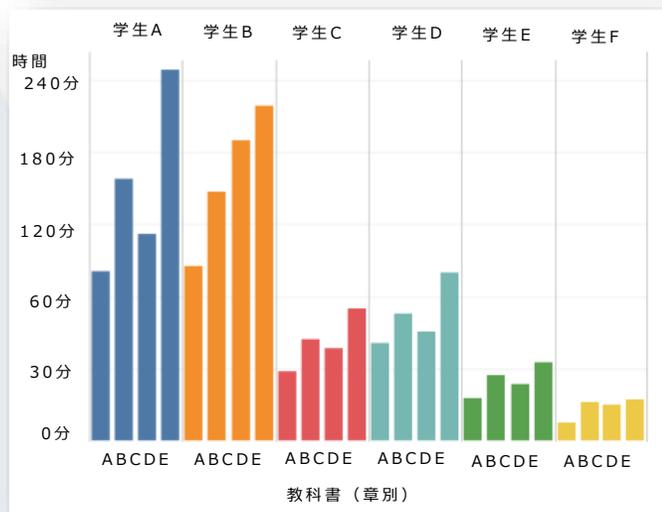
学校に行かずオンライン購入
& すぐに教科書を閲覧！

(参考) 分析例 (電子教科書利用ログ)

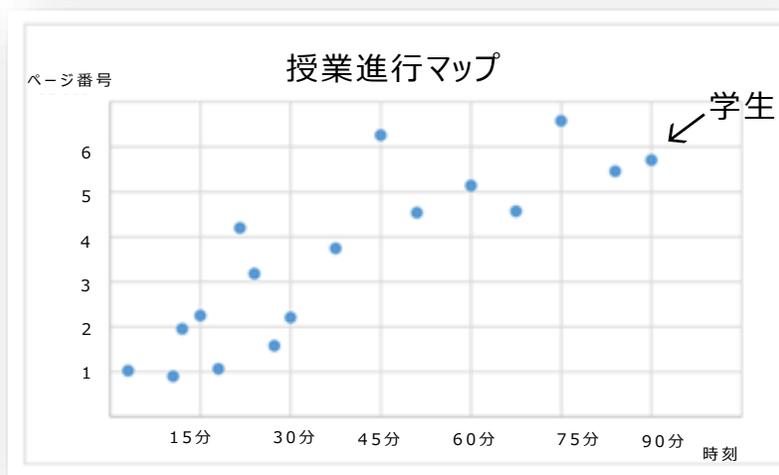
学修状況を可視化し、次回の授業や評価に活用

(画面はイメージです)

電子教科書を用いた学修時間の可視化



学生別のページ閲覧状況の可視化



電子教科書にマーカーを引いた単語の可視化



学生の閲覧状況から
次回重点的に指導するポイントを検討

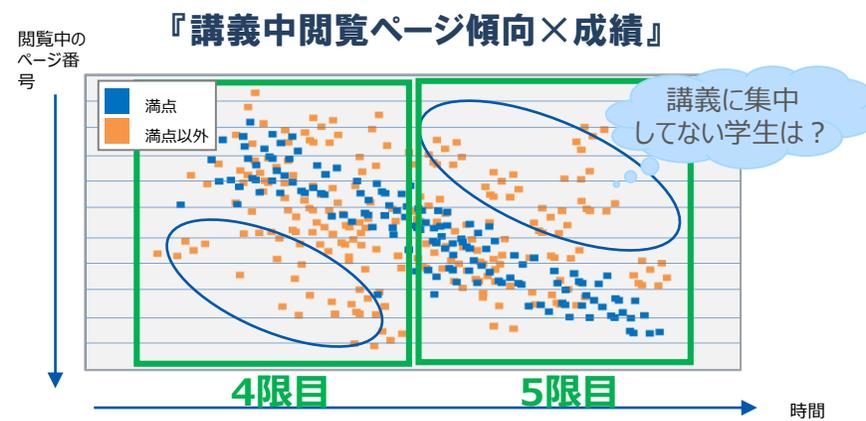
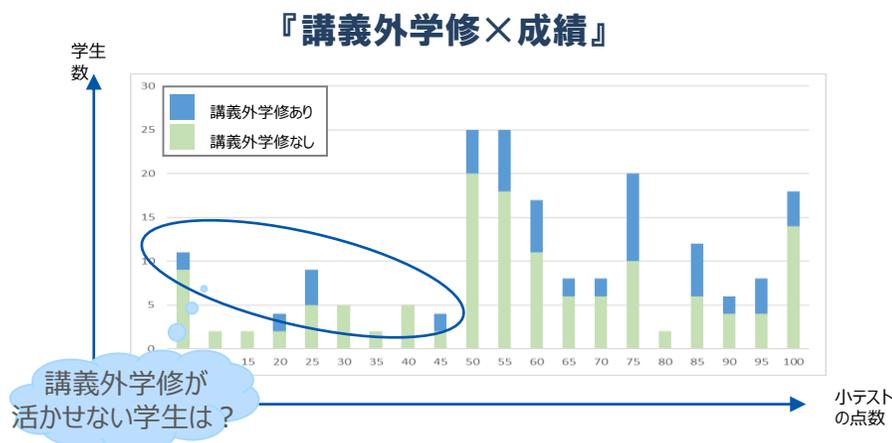


授業中の指示が通っているか、
学生が自発的に調べている単語が何かを確認



(参考) 分析例 (ラーニングアナリティクス)

学修データ分析のトライアルにより、
講義タイプに合わせたLA活用法などが知見として得られている



学修データによる気づき

学生



自分と他の学生の学修行動を比較すれば、やる気も出るし学修改善のヒントが得られそうだ

今まで分からなかった学生一人ひとりの授業外の学修状況や講義集中度を知ることができれば、学修指導や授業の計画/見直しができそうだ

教員



電子教科書・教材配信サービスの導入効果

経営層

教育DXの推進

学修ログの可視化による定量データを活用した学生や教員の教育の質改善をはじめ、事務効率化によるコスト削減や新たな収益を獲得

教務課

教員の事務効率化

教科書選定～シラバス登録～教科書販売までの事務プロセスを効率化することで、事務コストの削減やDX化を推進

情報基盤
センター

システム更改における付加価値の具備

システム更改時のセット導入により、情報基盤をこれまで以上に有効活用（より学生の学びの質向上に直結する情報基盤へ）

教員

授業準備のしやすさと教育の質向上

教務システムと連携されることで、シラバス登録業務を効率化。また、学修状況の可視化により、学生へのアドバイスや講義改善が可能

学生

学修のしやすさと学修内容の理解深化の両方を実現

ネット環境と閲覧可能端末さえあれば、いつでもどこでも学ぶことができ、電子教科書サービスの多彩な機能で自分に合った学びが可能

出版業界が得られる価値（流通などの変化）

- ✓オンライン営業やデータに基づいたマーケティングを実現
- ✓学修の質向上に向けた電子教科書採択の拡大による購入率・量UP
- ✓NTT EDXでの取次業務のワンストップ化による業務効率化

01:情報管理

情報の一元管理



従来の方法では管理が煩雑に...



時間・場所を選ばない！

02:コンテンツの電子化

取次業務のワンストップ化



電子化許諾／システム登録まで任せられる！

03:営業活動

発送業務カットによるコスト削減 全国の教員へ情報提供可能



発送不要

全国へ情報提供

プッシュ型オンライン営業

マイクロコンテンツの販売も支援

04:振返り

ログを用いたマーケティングと コンテンツ改善の実現

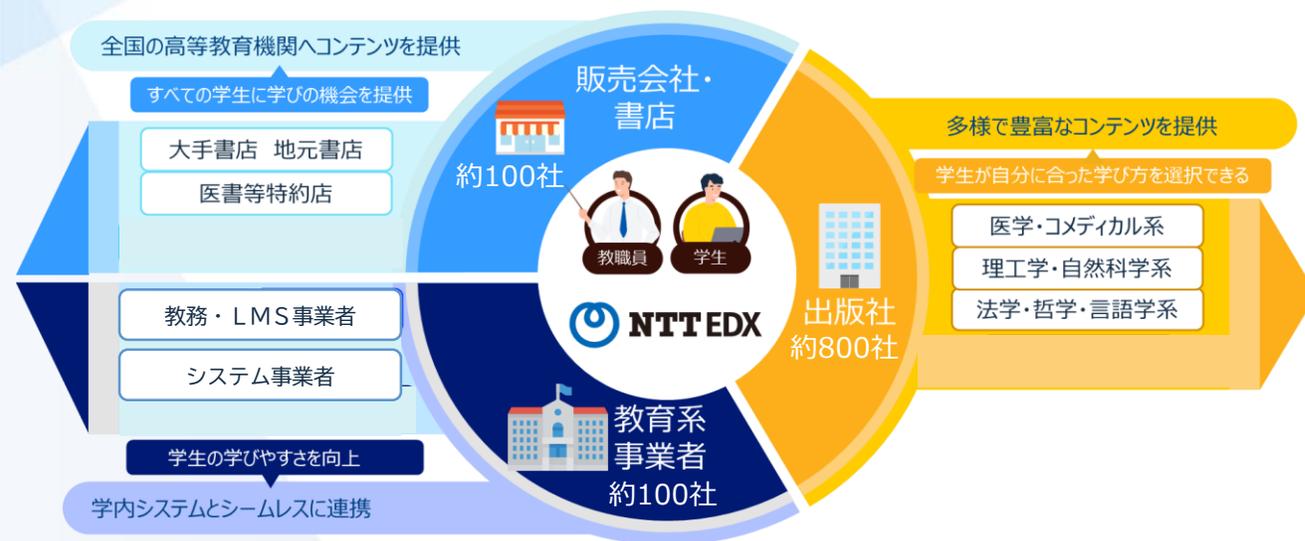


ユーザーの声を反映したコンテンツ提供

NTT EDXの事業運営方針と強み

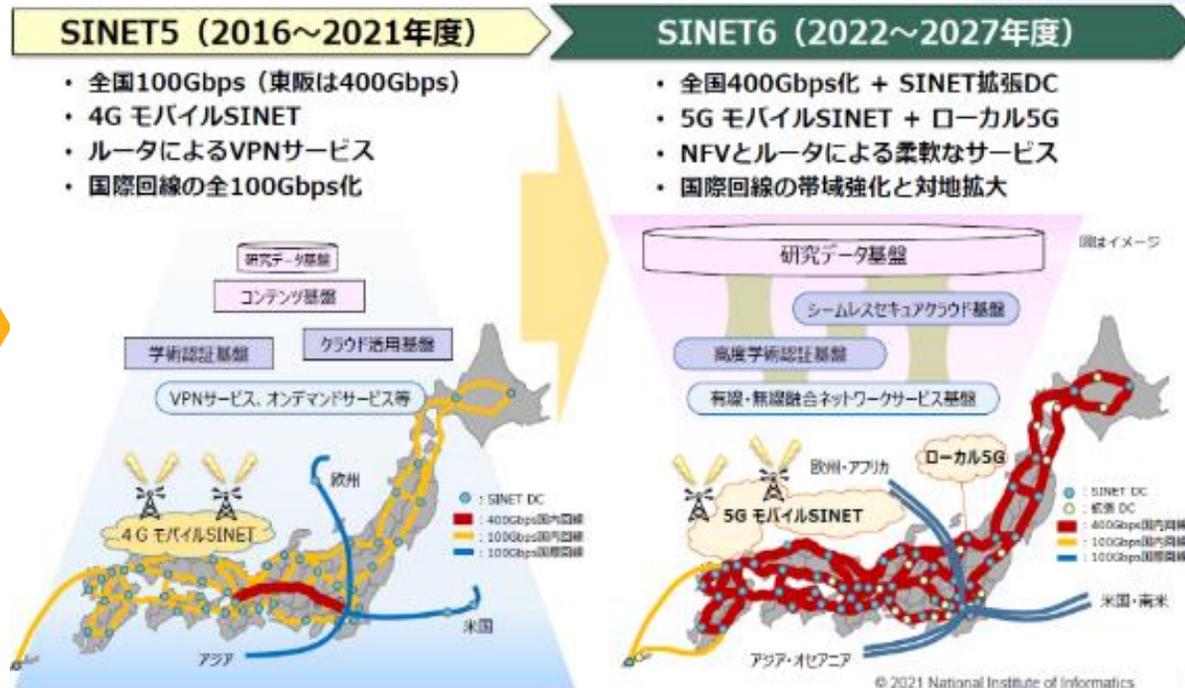
中立公平な事業体をめざし、高等教育を支える
あらゆる事業者様とともに事業を展開

各事業者様と公平なお付き合い



全国規模の大容量NWインフラ (SINET)
を活用したサービス

NTT東日本・西日本によるSINET運営



デジタル技術の積極的な活用により、高等教育機関の課題解決に取り組む

NTT EDX 公式WEBサイト

<https://www.nttedx.co.jp>

※SINETは日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報研究所（NII）が構築、運用している情報通信ネットワークです。
※教科書選定DBは大日本印刷株式会社が商標登録出願中です。